

事務事業名	施設整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	施設用度係	渋谷 孝士

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち			
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる			
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている			
根拠法令	名 称	医療法			
		地方公営企業法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費 (単位：千円)			
病院施設及び医療機器			29年度（決算額）	30年度（決算額）	31年度（予算額）
		事業費	1,227,925	2,566,705	939,142
		人件費	23,949	16,679	16,679
目 的		総事業費	1,251,874	2,583,384	955,821
・医療環境の適正な整備を行うことにより、より良い医療を提供できる体制を整えます。		31年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】			県支出金		0
			市債		0
			その他		939,142
			一般財源		0
・計画に基づいた施設の整備を行います。 ・競争性を踏まえた調達により、経費を抑えた医療機器の導入を図ります。			合 計		939,142
		3. 活動内容			
成 果（効果・予測）	活動指標1	名称	医療機器の整備		単位 千円
		内容説明	適正な予定価格の設定を行い経費の削減を図ります。		
		指標値		29年度	30年度（当該年度）
			予 定	387,429	1,951,696
			実 績	349,707	1,790,462
・適正な施設整備により、いつでも安心して治療が受けられる病院施設が整備されます。	活動指標2	名称			単位
		内容説明			
		指標値		29年度	30年度（当該年度）
			予 定		
			実 績		―――
課 題	活動指標3	名称			単位
		内容説明			
		指標値		29年度	30年度（当該年度）
			予 定		
			実 績		―――
・設備の適正な稼働を保持するためには、ある程度の費用が必要となります。（高度医療機器とその保守） ・医療機器の保守については、フルメンテナンスが有利なものと、スポット対応が可能なものを精査し、有利な契約方法について検討します。	活動指標4	名称			単位
		内容説明			
		指標値		29年度	30年度（当該年度）
			予 定		
			実 績		―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	28年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	29年度	Ⅰ：現状のまま継続	30年度	Ⅰ：現状のまま継続
	施設の老朽化対策と医療機器の計画更新の双方を見極め、病院機能を維持します。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	28年度	29年度	30年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	市公共建築課への委託により実施している設計や工事があり、今後も大型案件に関する業務支援を要するため。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	28年度	29年度	30年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	競争原理を活かした入札事務を適正に実施しています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	28年度	29年度	30年度	A：経費は適正な水準である。
	B	B	A	診療材料費、薬品費に代表される材料費は毎年高額な予算を必要としていますが、材料規格の検討や薬品の値引き交渉を更に進めることで効果が生まれる可能性があります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	28年度	29年度	30年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	適正と考えられます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	28年度	29年度	30年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	病院事業の範囲内で可能な限り実施しています。

事務事業名	厚生事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	総務調整係	渋谷 孝士

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち			
	個別目標		いつでも必要な医療が受けられる			
	めざす成果		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている			
根拠法令	名 称	地方公営企業法				
		医療法				
		地方公務員法				
当該事業の法令等による義務付けの有無		有				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
					設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象 病院職員	総事業費					(単位：千円)		
		29年度（決算額）		30年度（決算額）		31年度（予算額）		
	事業費	777,522		788,182		815,707		
	人件費	27,634		31,505		27,799		
目 的	総事業費	805,156		819,687		843,506		
病院職員が意欲的に働くことのできる環境を整えます。	31年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金				0		
		県支出金				0		
		市債				0		
		その他				815,707		
		一般財源				0		
		合 計				815,707		
3. 活動内容								
手段、手法【実施手法：直営】	活動指標1	名称	託児室の収支改善額				単位	千円
		内容説明	託児室事業収益－託児室事業費					
		指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度		
			予 定	△50,000	△50,000	△55,000		
			実 績	△49,975	△52,791	－ － －		
成 果（効果・予測）	活動指標2	名称	宿舍借り入れ事業の収支改善額				単位	
		内容説明	職員宿舍使用料－医師住宅・看護師宿舍借上げ料					
		指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度		
			予 定	△38,000	△38,000	△38,000		
			実 績	△39,542	△38,643	－ － －		
		課 題	活動指標3	名称				
内容説明								
指標値				29年度	30年度（当該年度）	31年度		
	予 定							
	実 績					－ － －		
・各種社会保険料の支払いや共済組合福祉事業に係る事務などを適切に遂行します。 ・職員健康診断やストレスチェック検査を実施します。 ・医療職員の専門研修や研究を支援します。 ・病院職員のための託児室を運営します。 ・例月の給与等支払いを適正に行います。	活動指標4	名称					単位	
		内容説明						
		指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度		
			予 定					
			実 績			－ － －		
・法定福利厚生に係る事務については、適正に遂行できています。 ・法定外福利厚生については、法定福利厚生に係る事務量が多岐多量であることや、財源負担の問題などから必要最低限度となっています。								

4. 今後の方針等

今後の方針等	28年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	夜間託児室の利用拡大及び宿舎のあり方について検討を進めます。					

事務事業名	施設維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	施設用度係	渋谷 孝士

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる		
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	医療法		
		地方公営企業法		
	当該事業の法令等による義務付けの有無		有	
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)			
病院の施設全般			29年度（決算額）		30年度（決算額）		31年度（予算額）		
		事業費	1,586,811		1,610,819		1,677,020		
		人件費	16,580		21,868		24,092		
目 的		総事業費	1,603,391		1,632,687		1,701,112		
施設を適正に維持管理することにより、より良い医療を提供できる体制を整えます。		31年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金		0					
		県支出金		0					
		市債		0					
		その他		1,677,020					
		一般財源		0					
		合 計		1,677,020					
手段、手法【実施手法：直営】		3. 活動内容							
・計画に基づいた適正な施設の維持管理、修繕を行います。 ・競争原理を生かした入札手法により、経費を削減します。		活動指標 1	名称	施設、設備にかかる経費			単位	千円	
			内容説明	施設、設備を適正に維持、管理します。					
			指標値	29年度		30年度（当該年度）		31年度	
				予 定	574,941	645,070		661,736	
				実 績	589,899	540,568		―――	
成 果（効果・予測）		活動指標 2	名称				単位		
・いつでも安心して治療が受けられる施設を維持することができます。			内容説明						
			指標値	29年度		30年度（当該年度）		31年度	
				予 定					
				実 績				―――	
課 題		活動指標 3	名称				単位		
・施設を維持するためには膨大な費用がかかります。 ・劣化状況を踏まえて、優先度の高いものから大規模な施設改修を計画・実施する必要があります。 ・メーカー独自技術による設備が多く、競争原理を活かした入札手法を行うことの難しさがあります。			内容説明						
			指標値	29年度		30年度（当該年度）		31年度	
				予 定					
				実 績				―――	
		活動指標 4	名称				単位		
			内容説明						
			指標値	29年度		30年度（当該年度）		31年度	
				予 定					
				実 績				―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	28年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	29年度	Ⅰ：現状のまま継続	30年度	Ⅰ：現状のまま継続
	施設の老朽化対策の緊急度が総じて増している中で、予算を鑑みながら優先順位を見極め、短期的に解決すべき事案と日常の保守で延命できる事案とを判断して対応します。					

事務事業名	人事管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	総務調整係	渋谷 孝士

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち			
	個別目標		いつでも必要な医療が受けられる			
	めざす成果		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている			
根拠法令	名 称	地方公営企業法				
		医療法				
		地方公務員法				
当該事業の法令等による義務付けの有無		有				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
					設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
病院職員		29年度（決算額）	30年度（決算額）	31年度（予算額）
	事業費	39,750	43,123	41,385
	人件費	27,634	31,505	28,540
目 的	総事業費	67,384	74,628	69,925
病院業務に必要な人員を確保するとともに、適切に人員を配置します。	31年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】		県支出金		0
		市債		0
		その他		41,385
		一般財源		0
		合 計		41,385
・職員定数管理を行います。 ・職員の採用・退職に係る事務を行います。 ・職員の処遇管理を行います。 ・労働時間の短縮等、勤務環境整備のための取り組みを促進します。				

3. 活動内容

活動指標1	名称	医師の充足数		単位	人
	内容説明	各診療科で必要と思われる医師数			
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度
		予 定	91	93	93
		実 績	86	90	――
活動指標2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	28年度	I：現状のまま継続	29年度	II：見直しのうえで継続	30年度	II：見直しのうえで継続
	病院事業の根幹は人材の確保にあることから、働き方改革を踏まえた勤務環境の整備等の取り組みを実施していきます。また、会計年度任用職員の導入に向けて調整を行っていきます。					